

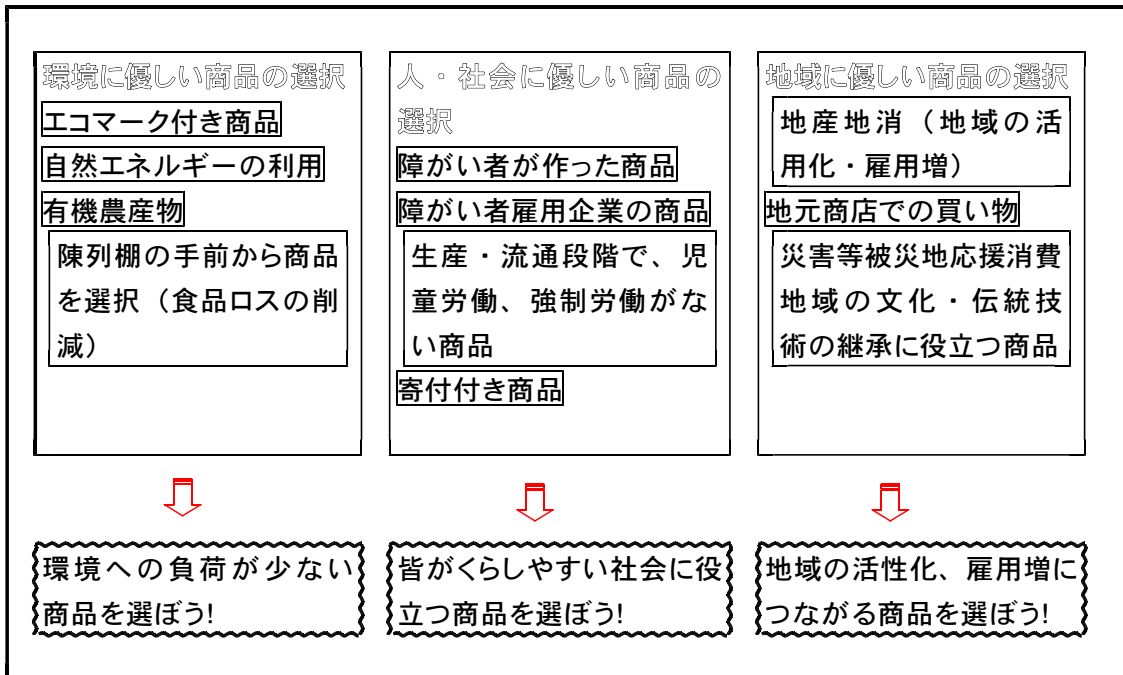
エシカル消費について

地球環境や地域社会を守り、未来につなげていくために、私たちにできることとしてエシカル消費があります。日々の買い物を通して、環境や社会をよりよい方向に変えていく方法です。

一人ひとりの思いやりと責任ある買い物で、今の環境のみならず、将来の世代や地域の振興に貢献できるのです。

エシカル消費とは、「環境、人や社会、地域に優しい商品やサービスを選ぶ“思いやり”のある買い物のしかた」のことで。

エシカル消費の分類イメージ



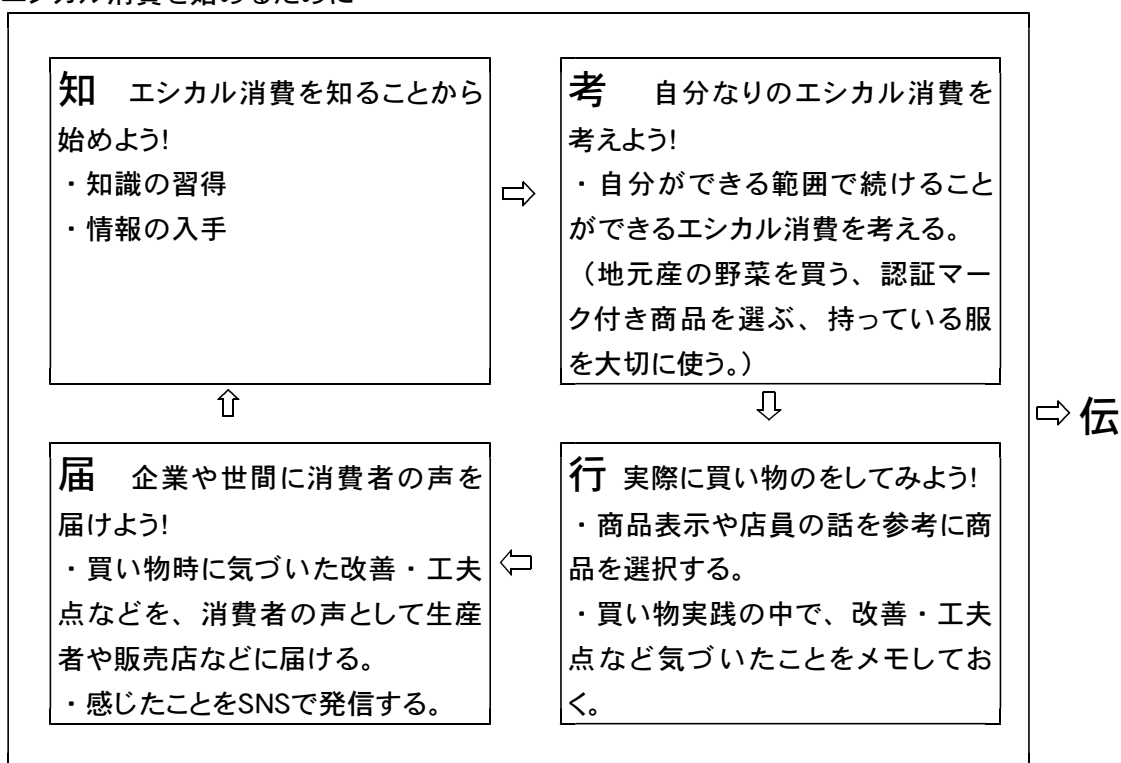
なぜ、今、エシカル消費なの？

現在の大量消費社会では、商品の生産や廃棄の現場が、消費者から見えにくくなっています。消費者は、単にお金を通じて商品を購入する存在になり、商品が生産された背景や廃棄後のモノの行方への関心は薄れがちです。一方で、企業のCMや流行の創造により、消費者の消費意欲はいつも喚起されています。

このような極端な欲望消費社会では、企業は商品製造コストの削減を追求するあまり、社会的責任の欠如から、排出ガスへの対策放置による大気汚染や熱帯雨林の過剰伐採などの環境問題や、食品偽装や劣悪な過剰労働などの社会問題を生じさせることがあります。

それは無自覚に消費活動を行っている私たちの責任でもあるのです。価格、機能・品質、安全性だけでなく「商品やサービスが環境に与える影響」や「企業の経営方針や社会貢献活動」を意識して商品を選ぶ人が増えれば、環境や社会はもっとよくなるはず。

エシカル消費を始めるために



認証ラベルやマークの例

<p>エコマーク</p>  <p>「生産」から「廃棄」にわたる全体を通して環境保全に役立つと認められたもの。</p>	<p>F S C 認証</p>  <p>適切に管理された森林からの木材・木材製品であると認められたもの。</p>	<p>レインフォレスト・アライアンス認証</p>  <p>地球環境や動植物への配慮された熱帯雨林で生産されるコーヒー、カカオ、バナナなどを認証。</p>	<p>有機 J A S 認証</p>  <p>農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず自然界の力で生産された食品を示すもの。</p>
<p>M S C 認証</p>  <p>持続可能で、環境に配慮した漁業により獲られた水産物であることをしめす。</p>	<p>G O T S 認証</p>  <p>オーガニックコットンであると同時に、加工過程でも環境負荷の少ない方法がとられている。</p>	<p>国際フェアトレード認証</p>  <p>開発途上国の生産者への適正価格の保証や、人権・環境に配慮した基準が守られている。</p>	<p>山梨県農産物認証</p>  <p>県内で生産されている農産物を原材料にした加工食品で、地域と環境と調和しているものなど。</p>